業 績 目 録 記 載 要 項

別紙２

(1) 業績目録は、各分類を記載例にならって最新のものから順に（新しい順）に記載すること。
該当するものが無い場合は“無し”と記入してください。

(2) 著者、発表者または編集者の氏名は原典の記載順の通りに全員を記載し、該当者氏名にはアンダーラインをしてください。

(3) 全ての論文について、ＩＦを記入してください。
なお、ジャーナル・サイテーション・レポート（JCR）2019 年版をご使用ください。

Ｉ）**原　著**：**レフリー査読**を経て掲載された論文（掲載許可証のあるものを含む）。学会記録、研究報告書などはこの範疇には入れない。
≪記載順序≫　**著者氏名**：題名．雑誌名，巻数：起始頁－終頁，西暦発行年月．
（主要な原著の各別冊 10 編以内を添付してください。）

Ⅱ）**準原著・Proceedings**：Ｉ）原著の条件は満たさないが原著に準ずると判断し得る論文，Proceedings など。（単なる学会発表の抄録 abstract は除く）

Ⅲ）**症例，臨床治験報告**：**査読**を経て掲載された論文（掲載許可証のあるものを含む）。記載方法はＩ）に準ずる。

Ⅳ）**著書**（訳書，編書を含む）
著者氏名：書籍名．版数（あれば），発行所名，発行地，西暦発行年月，巻数（あれば），起始頁－終頁．
〈分担執筆の場合〉
著者氏名：題名．書籍名（編集者名），版数（あれば），発行所名，発行地，西暦発行年月，巻数（あれば）起始頁－終頁．

Ⅴ）**総説，講座，その他**
記載方法はＩ）に準ずる。なお、査読を経て掲載された場合には、査読有と記載する。

Ⅵ）**学会発表**：シンポジウム、特別講演、宿題報告、教育講演、一般講演（10 年以内）などに分類し、発表年の順に記載する。抄録、予稿などの印刷物が発行されている場合は括弧内にそれを記載する。一演題について複数の印刷物が発行されている場合は、最も重要と思われる一つを記載する。印刷物の記載方法は雑誌の場合はＩ）、単行本の場合はⅣ）に準じ、その題名が講演発表題名と同じ場合は、題名は省略する。
発表者氏名：題名．学会名，西暦発表年月，開催地（Proceedings または抄録または予稿の記載）。

Ⅶ）**競争的資金獲得状況**
〈科研費〉
研究代表者として採択された研究課題および採択された研究課題の**分担研究者**となった場合について、種別、研究課題名、研究期間（年度）、金額（総額）を記入してください（分担研究者の場合は、研究代表者名も記入）。
〈科研費以外の公的研究費〉
研究代表者として採択された、日本学術振興会、ＪＳＴ、ＮＥＤＯ、省庁・地方自治体などの公的研究費について、研究費名、研究課題、研究期間（年度）、金額（総額）を記入してください。
〈その他民間機関からの研究費等〉
研究代表者として採択された、民間企業からの受託・共同研究費、民間財団からの助成等について、研究費名、研究課題、研究期間（年度）、金額（総額）を記入してください。

記 入 例

業　績　目　録

氏名　　医療　太郎

※英文・和文に分け、分類ごとに記載してください。
※最新の業績から順に記載してください。
※IF はJCR2019 年版よりお調べください。

（Ⅰ）原　著

1．Kanagawa I, Iryou T：Development of spike potentials in muscle cells differentiated in vitro. J. Cell. Physiol., 93：383－399，2017,July.　【ＩＦ＝5.222】

2．Iryou T, Kanagawa I, Sagamihara I：Significant increase of colonic mutated crypts in ulcerative colitis correlatively with duration of illness. Cancer Res,65：2316－2329, 2002,August.　【ＩＦ＝15.161】

3．医療太郎，相模原市子：心不全時における心筋カルシウムイオンの動態．医療医学，50：670－681，1980 年 10 月．　【ＩＦ＝０】

（Ⅱ）準原著・Proceedings

1．Iryou T, Sagamihara I：Roles of neutrophils in reperfusion injury. Proceedings of Cardiac Infarction study Group. (S. Emoto) Elsevier, Amsterdam, Tokyo, 1991, May.pp. 51－58.　【ＩＦ＝０】

（Ⅲ）症例，臨床治験報告

1．Iryou T, Shima M：Prostatic stromal sarcoma with neuroectodermal differentiation, Diagn Pathol，6：155，1982,June.　【ＩＦ＝1.852】

2．医療太郎，相模原市子，神奈川一郎：興味ある十二指腸病変を合併した潰瘍性大腸炎と思われる１症例．日本大腸肛門病学会雑誌，37：255－260，1984 年 6 月．　【ＩＦ＝０】

（Ⅳ）著　書

1．Kanagawa I, Sagamihara I, Iryou T：The influence of nerve extract on the development of muscle cell excitability. Muscular Dystrophy (ed. S. Ebashi), Springer-Verlag, Berlin, 1983,July. pp. 61－69.　【ＩＦ＝０】

2．医療太郎，相模原市子：臨床外科学．第 2 版，南江堂，東京，1976 年 9 月，第 1 巻，1－100 頁．　【ＩＦ＝０】

（Ⅴ）総説，講座，その他

1．医療太郎，相模原市子：発達障害のある子どもの支援，臨床心理学, 5：24-28, 2002 年 7 月．(査読有)

（Ⅵ）学会発表

〈シンポジウム〉

1．医療太郎，相模原市子：血小板のアラキドン酸代謝．第 37 回日本臨床病理学会関東甲信越支部例会シンポジウム「血小板－検査と病態」，1984 年 5 月,箱根．（臨床病理，33：722－725，1985,5.）

〈一 般 講 演〉

1．神奈川一郎，相模原市子，医療太郎：急速動脈内輸液に伴う血圧降下現象の機序について．第 61 回日本生理学会大会，1985 年 4 月，前橋．（日本生理学会雑誌，46：502，1985,4.）

（Ⅶ）競争的資金獲得状況

1．科研費：基盤研究 B「**********」2017-2020 年度　600 万円

2．科研費：基盤研究 C「**********」2015-2017 年度　330 万円
　　（研究代表者：相模大学・北　里子）

3．××財団：2014 年度研究助成「**********」2014 年度　300 万円